



オカリナを楽しもう

山岡小学校では6月29日、名古屋市立大学で、オカリナを中心に音楽を研究する、加藤いつみ教授を招き、オカリナ体験授業、演奏会、講演会を実施しました。4年生2クラスの児童が体験授業を受け、演奏会で披露。初めてオカリナに触れる児童も多くいましたが、クラスごとに「はっばとそよかぜ」、「かえるのがっしょう」を上手に演奏できました。加藤教授からは、テレビや映画でおなじみの曲を披露いただきました。

初めて触れるオカリナも上手に演奏できました



世代を越えて交流

6月24日恵那北中学校で、地域のお年寄りを招き交流を深める「ふれあい交流会」が実施されました。7回目となる今回は、飯地町から50人のお年寄りを招きました。

全校合唱で歓迎。3グループに分かれ、それぞれ竹とんぼ作り、お手玉遊び、飯地の昔話で交流を深めました。一緒に楽しく給食を食べた後は、みんなで「リンゴの唄」を大合唱。世代を越えて交流を深めることができました。

竹を削り、昔ながらの竹とんぼを作りました

世界で1個のトンボ玉

6月30日、明智町吉良見の恵南クリーンセンターあおぞらでとんぼ玉ガラス体験が開催され、午前の講座には6人が参加しました。

40色のガラス棒から基本の色を選んでガスバーナーで溶かし玉状にしたものに好みの色で模様をつけ、形を整えて完成。透き通った青色で涼しげなものや、花模様など個性に富んだ作品が多い人で1人8個ほどできました。このトンボ玉に皮ひもなどを付けると、おしゃれなアクセサリーになります。



真剣な表情でガラス棒を溶かす参加者の皆さん

歌声にウツトリ

「ホタルが飛び交う環境にやさしい町、中野方」をキャッチフレーズに活動続ける中野方町ホタル委員会が6月24日、中野方小学校でホタルコンサートを開催しました。6回目となる今回は、公民館講座で腕を磨いた受講生達のバイオリン演奏。地元中野方町出身のソプラノ歌手、鷺見佳子さんの所属する「フリューゲル」による声楽アンサンブルを。最後は中野方小児童、父兄の方も一緒になって「マツケンザンバ」などを歌いました。

鷺見佳子さん(壇上中)の所属するフリューゲルの皆さん



放水など元気に訓練

7月3日、恵那消防署前で市少年消防隊の第1回訓練が行われ約130人が参加しました。訓練は3つの班に分かれ、整列などの各個訓練や消防自動車による放水訓練、ロープを渡ったり、酸素を補給する器具を着用したりする救助隊訓練、火災予防の講習など2時間半に渡って訓練をしました。各個訓練は少しこちない感じでしたが、1年間いろいろ訓練を体験して、消防署の仕事について少しずつ理解を深めていきます。

実際に消防車を使い放水訓練をする少年消防隊



無病息災祈る送り神

6月26日、大井町御所の前で市無形文化財に指定されている「送り神」が行われました。送り神は、稲の害虫駆除や五穀豊穡、無病息災を願う伝統的な行事。子どもたちは水着姿に「元気いっぱい」など背中や腕に墨で書き、男女のわら人形を先頭に元気に念仏を唱えながら町内を練り歩くと、待っていた沿道の家々から塩水などをかけられました。また7月2日には武並町竹折宿、16日は東野でも虫送りと呼ばれる同様の行事が行われました。

水をいっぱいかけられながらも、元気に町内を一周



大気汚染の仕組みを研究

恵那西中学校では、3年生の選択教科（理科）で「学校のまわりは自然が豊かなのか？」をテーマに、グループ追求を行っています。その一環として7月8日、サイエンスワールド（瑞浪市）から先生を招き、大気が汚れる原理、学校まわりの大気調査、酸性雨が降る仕組みを専門の実験道具を用いて研究しました。酸性雨を作る実験では、自動車の排気ガスを使い、水槽の中で実際に酸性雨を作ることができ、その仕組みが理解できました。

水槽の中で酸性雨を作る実験

恵那の湖水に金看板

7月8日、3月にダム湖百選に選ばれた阿木川ダムの入口広場で市長ら関係者が出席し、認定プレートの除幕式を開催しました。ダム湖百選は、全国で65ダム湖が選ばれ、県下では阿木川湖、恵那峡の2つ、いずれも恵那市の湖水が選ばれました。市長は選定理由に景観のよさ、上流下流の交流、環境への取り組みを上げ、「今後も水源としての役割を果たし、交流の拠点として活用したい」とあいさつしました。

ダム湖百選の認定プレートの除幕する関係者



ゆずりあう心で運転を

7月11日～20日の間、「ゆずりあう心で夏の交通事故防止」をスローガンに、夏の交通安全県民運動が実施されました。11日には山岡農村環境改善センターで市交通安全市民大会が行われ、交通安全功労者として東濃鉄道株式会社恵那営業所をはじめ、11団体が表彰を受けるなどしました。会の開催に先立って、交通安全パレードの出発式が行われ、パトカー、バイク、ダンプカーによるパレード隊が関係者に見送られ出発しました。

山岡農村環境改善センターを出発するパレード隊



優秀な人材を地域に

7月4日、恵那峡のホテルで恵那、中津川の雇用対策連絡協議会が共同で東美濃就職促進情報交換会を開催し、学校、企業など関係者約90人が参加しました。

昨年は地元就職率が7割を超えたものの、3年後の離職率が約5割という状況から、情報収集、企業体験などによる雇用のミスマッチを防ぐ取り組みが課題で、交換会には、地域の高校、製造・サービス・福祉など企業40社が参加し、情報交換を行いました。

地元企業の説明に真剣に聞き入る高校関係者④

ようこそ歴史の町並みへ

7月6日、岩邑小学校で岩村町がふれあい協定を結んでいる知多市の岡田小学校との交流会が開かれました。

交流会には岩邑小学校50人、岡田小学校66人の小学5年生が参加し、パソコンで作った名刺を交換し自己紹介。岡田小児童は岡田町の有名な食べ物、特産のもめん、祭りの山車などについて、13グループに分かれ説明をしました。その後、岩村町の歴史の町並みと一緒に散策し、交流を深めました。

岩村の歴史の町並みを散策する小学生ら



心に響くマンドリン

7月3日、明智町かえでホールで第18回東濃マンドリン音楽祭が開催されました。音楽祭には明智商業高校、恵那北高校、坂下高校の高校生をはじめ、地域の演奏者などが参加し、演奏を披露しました。

青い山脈、舟唄などの親しみやすい曲から難易度の高い序曲「祖国への愛」までそれぞれの人数構成などに合わせて演奏され、観客はその優しい音色に心地よさそうに聞き入っていました。

優しい音色を響かせるマンドリン演奏